

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

提案書	
技術分野	⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
提案件名	陸側遮水壁の早期設置に関する提案について
提案者	中国電力株式会社
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>(今も建屋地下には1日約400tの地下水が流入していることから) 地下水流入制御 (抜本対策) として、『地下水バイパスによる水のくみ上げ』、『サブドレンによる水のくみ上げ』、『陸側遮水壁 (凍土壁) の設置』が計画されているが、『凍土壁』については、技術的な課題等から工事開始にも至っていない。</p> <p>この対策の考え方は非常に有効なものではあるが、完成迄に約2年を要することから、『凍土壁』の技術的な課題等の検討と並行して、早期に実施できる『地下水流入・汚染水拡散抑制対策』として原子炉建屋陸側に恒久グラウト材または鋼矢板による遮水壁を設置し、その外側に揚水井戸を設置することを提案する。(添付資料参照)</p> <p>これにより、今も建屋地下に流入している1日約400tの地下水を概ね遮断することができるものとする。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般的な工法であり、建設現場で広く活用されている。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 <ul style="list-style-type: none"> ○ 恒久グラウト材による遮水壁を構築する場合には、設置位置の地下水特性等を踏まえて、1次注入として瞬結タイプのグラウト材の注入が必要な場合もあるものとする。 ○ 恒久グラウト材または鋼矢板による遮水壁と揚水井戸を組み合わせることにより、原子炉建物側に流入する地下水を概ね遮水できるものとする (凍土壁は透水性0であるが、恒久グラウト材または鋼矢板による遮水壁では100%遮水はできないため、その補完として揚水井戸を設置する) が、実施後は、定期的なモニタリングを継続して行なう必要がある。 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) <ul style="list-style-type: none"> なし 	

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ~~① 汚染水貯蔵 (タンク等)~~
- ~~② 汚染水処理 (トリチウム処理等)~~
- ~~③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)~~
- ~~④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)~~
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ~~⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)~~